

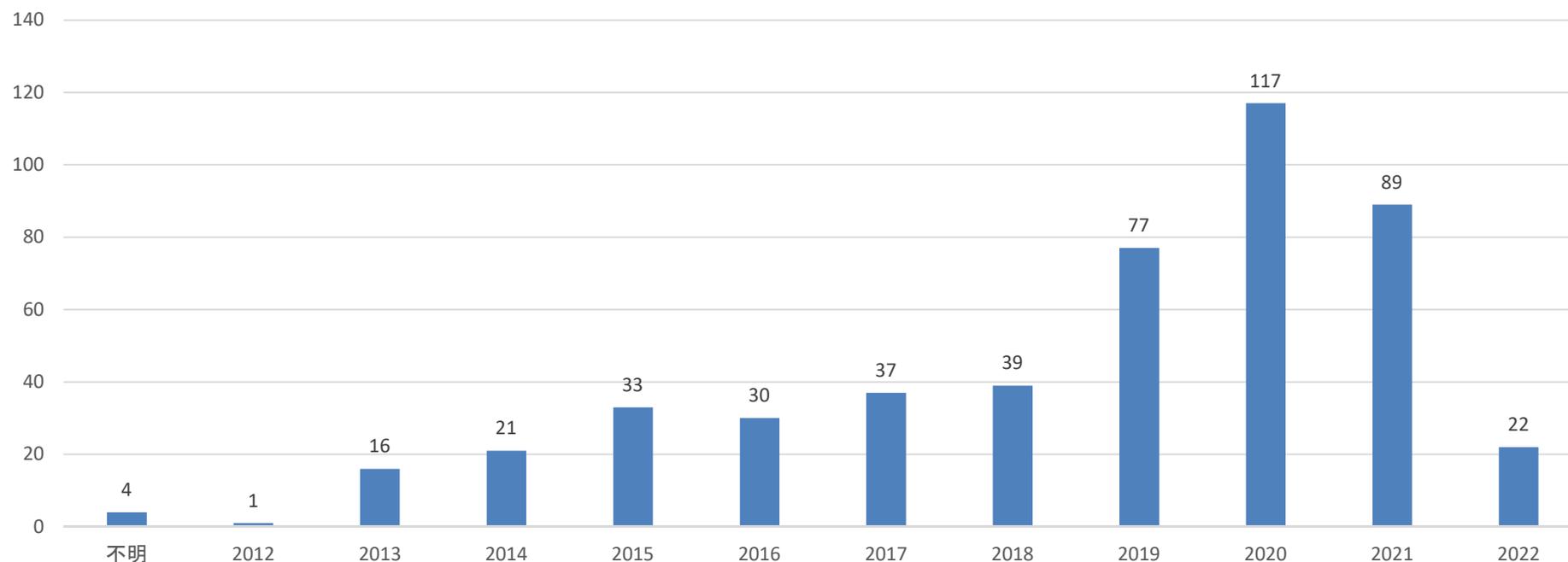
令和4年9月29日	資料2
第9回匿名医療・介護情報等の 提供に関する委員会	

第三者提供の現状について（報告） （成果物集計）

厚生労働省保険局医療介護連携政策課
保険データ企画室

2021年度に公表された成果物の集計について

- ◆ 2011年度より、医療費適正化計画策定に資する目的以外でのNDBデータの利用が認められ、専門委員会で承諾を受けた研究に対してNDBデータの第三者提供が開始された。
- ◆ 2022年3月末まで410研究(オンサイトを含む)に対するデータ提供が承諾されている。
- ◆ 2021年4月から2022年3月の間に、新たに85件の成果物の報告があった。
- ◆ 成果物の発表年での推移については以下の通り。



※申出者より成果物として提出された公表物について発表年で集計
※2022年は3月末時点での報告

※ 匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報の提供に関するガイドライン(抄)

第13 実績報告書の作成・提出

2 利用実績の公表

厚生労働省は、報告を受けた利用実績を取りまとめ、専門委員会に報告するとともに、必要に応じて利用実績をホームページ等により公表する。

No	提供依頼申出者	所属機関	演題名	発表形式	発表媒体	発表時期(年)	発表者
1	中山健夫	京都大学大学院医学研究科	高齢患者の死亡前の生命維持治療の状況：全国データによる分析	論文	Geriatric Medicine (老年医学) 2022年04月号 Vol.60 No.4	2022	酒井未知、中山健夫
2	三宅康史	帝京大学	I .熱中症とは何か	マニュアル	環境省熱中症環境保健マニュアル2022 ; p7	2022	三宅康史、他
3	三宅康史	帝京大学	熱中症の現状と基本情報	講演	環境省熱中症対策シンポジウム	2019	三宅康史
4	三宅康史	帝京大学	第1章.熱中症の概要：疫学・メカニズム	書籍	医療者のための熱中症対策Q&A ; p21-25	2019	三宅康史 編著
5	三宅康史	帝京大学	重症熱中症の病態と治療	雑誌	臨床スポーツ医学35(7) : 718-726	2018	三宅康史
6	三宅康史	帝京大学	疫学CQ1:本邦における熱中症の発生頻度はどのくらいか	ガイドライン	熱中症診療ガイドライン2015 ; p1-2	2015	三宅康史、他
7	室高広	長崎国際大学	市中肺炎患者の血液培養検査に関する実態調査	学会	第31回日本医療薬学会年会 シンポジウム29	2021	室 高広
8	鳥井陽一	厚生労働省医薬・生活衛生局総務課	「患者のための薬局ビジョン」に基づく医薬分業の質を評価する指標の進捗状況の把握・評価	報告書	第37回 経済・財政一体改革推進委員会	2021	内閣府、厚生労働省
9	内藤俊夫	順天堂大学	Analysis of Comorbidities and Use of Co-medications in 28,089 HIV-positive Patients: A Nationwide Cohort Study From 2009 to 2019 in Japan	学会	米国感染症学会 (IDSA) IDWeek 2021	2021	Toshio Naito, Mai Suzuki, Shinichi Fukushima, Mayumi Yuda, Nobuyuki Fukui, Shotaro Tsukamoto, Kazutoshi Fujibayashi, Keiko Goto-Hirano, Ryohei Kuwatsuru
10	内藤俊夫	順天堂大学	Analysis of antiretroviral therapy switch rate and switching pattern for people living with HIV from a national database in Japan	論文	Scientific Reports volume 12, Article number: 1732 (2022)	2022	Toshio Naito, Hirotake Mori, Kazutoshi Fujibayashi, Shinichi Fukushima, Mayumi Yuda, Nobuyuki Fukui, Shotaro Tsukamoto, Mai Suzuki, Keiko Goto-Hirano, Ryohei Kuwatsuru
11	内藤俊夫	順天堂大学	Delayed diagnosis of human immunodeficiency virus infection in people diagnosed with syphilis: A nationwide cohort study from 2011 to 2018 in Japan	論文	Journal of Infection and Chemotherapy Volume 28, Issue 2, February 2022, Pages 333-335	2022	Toshio Naito, Kazutoshi Fujibayashi, Hirotake Mori, Shinichi Fukushima, Mayumi Yuda, Nobuyuki Fukui, Shotaro Tsukamoto, Mai Suzuki, Keiko Goto-Hirano, Ryohei Kuwatsuru
12	内藤俊夫	順天堂大学	Comorbidities and co-medications among 28089 people living with HIV: A nationwide cohort study from 2009 to 2019 in Japan	論文	HIV Medicine 2021 Nov 25. doi: 10.1111/hiv.13206	2021	Toshio Naito, Mai Suzuki, Shinichi Fukushima, Mayumi Yuda, Nobuyuki Fukui, Shotaro Tsukamoto, Kazutoshi Fujibayashi, Keiko Goto-Hirano, Ryohei Kuwatsuru
13	篠山大明	信州大学医学部	Trends in Autism Spectrum Disorder Diagnoses in Japan, 2009 to 2019	論文	JAMA Netw Open. 2021;4(5):e219234	2021	篠山大明、公家里依、樋端祐樹、本田秀夫
14	寺崎浩子	名古屋大学大学院医学系研究科	レセプト情報を用いた眼科医療の医師-患者の需給バランスに関する研究	報告書	我が国における適切な眼科医数の把握に向けた検討プロジェクト報告書	2020	寺崎浩子
15	桜澤邦男	東北大学大学院医学系研究科	NDB集計データと公開データを併用したがん患者の都道府県別在宅看取り割合と医療資源等との関連に関する研究	学会	日本医療・病院管理学会 第59回学術総会 (Web発表)	2021	桜澤邦男, 藤森研司 (ほか)
16	桜澤邦男	東北大学大学院医学系研究科	Medical resources and medical activities affect the rate of home death in cancer patients: Analysis by prefecture using Japanese National Database and public data.	Research Article	PLOS ONE (投稿中)	2022	Kunio Tarasawa, Kenji Fujimori et al
17	桜澤邦男	東北大学大学院医学系研究科	在宅看取りに影響する同一地域病院の機能の解明：NDBレセプトと公開データ併用分析	報告書	文部科学省 科学研究費 基盤研究C 2021年度実施報告書 (ドラフト)	2022	桜澤邦男
18	梅垣岳志	関西医科大学	National Databaseでみる集中治療室運営形態が及ぼす退院時予後への影響について-血液疾患の敗血症での解析-	学会	日本麻酔科学会2021年度支部学術集会 6支部合同開催	2021	梅垣岳志、西本浩太、上林卓彦
19	田啓樹	昭和大学医学部	Epidemiology of Developmental dysplasia of the hip : analysis of Japanese national database	学会	13th Combined Meeting of Asia Pacific Spine Society & Asia Pacific Paediatric Orthopaedic Society	2021	田 啓樹、伊藤順一、小風暁

No	提供依頼申出者	所属機関	演題名	発表形式	発表媒体	発表時期(年)	発表者
20	田啓樹	昭和大学医学部	Epidemiology of developmental dysplasia of the hip: analysis of Japanese national database	論文	Journal of Epidemiology 2021 Aug 12. doi: 10.2188/jea.JE20210074.	2021	田 啓樹、伊藤順一、小風暁
21	小嶺祐子	厚生労働省医政局歯科保健課	令和3年度歯科保健医療データブック	自治体配布	令和3年度厚生労働省委託事業「歯科口腔保健医療情報収集・分析等推進事業」成果物	2022	厚生労働省医政局歯科保健課
22	小嶺祐子	厚生労働省医政局歯科保健課	令和2年度歯科保健医療に関するオープンデータ	厚労省webページ公開	令和2年度厚生労働省委託事業「歯科口腔保健医療情報収集・分析等推進事業」成果物	2021	厚生労働省医政局歯科保健課
23	鴨打正浩	国立大学法人九州大学	Regional Disparity of Reperfusion Therapy for Acute Ischemic Stroke in Japan: A Retrospective Analysis of Nationwide Claims Data from 2010 to 2015	論文	Journal of the American Heart Association 2021; 10(20): e021853	2021	Megumi Maeda, Haruhisa Fukuda, Ryu Matsuo, Tetsuro Ago, Takanari Kitazono, Masahiro Kamouchi
24	志田瑤	独立行政法人医薬品医療機器総合機構	医薬品の市販後安全対策に資する薬剤疫学調査	HP上での公表	バルサルタンAA錠の処方実態調査に関する報告に関する調査結果の概要のHP上での公表(https://www.pmda.go.jp/files/000241342.pdf)	2021	-
25	志田瑤	独立行政法人医薬品医療機器総合機構	医薬品の市販後安全対策に資する薬剤疫学調査	HP上での公表	メトホルミン製剤の処方実態調査に関する結果の概要のHP上での公表(https://www.pmda.go.jp/files/000241341.pdf)	2021	-
26	今村知明	公立大学法人奈良県立医科大学	NDBを用いた癌の部位別SMRの算出の検討	学会	第41回医療情報学連合大会	2021	菅野 沙帆、野田 龍也、西岡 祐一、久保 慎一郎、明神 大也、今村 知明
27	今村知明	公立大学法人奈良県立医科大学	レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた外来傷病名集計結果の公表について	ホームページ	奈良県立医科大学公衆衛生学講座ホームページ	2021	今村知明、西岡祐一、野田龍也
28	今村知明	公立大学法人奈良県立医科大学	レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた入院・外来の診療行為算定回数集計結果の公表について	ホームページ	奈良県立医科大学公衆衛生学講座ホームページ	2021	今村知明、西岡祐一、野田龍也
29	今村知明	公立大学法人奈良県立医科大学	Tracing all patients who received insured dialysis treatment in Japan and the present situation of their number of deaths	論文	Clinical and Experimental Nephrology	2021	Shinichiro Kubo, Tatsuya Noda, Tomoya Myojin, Yuichi Nishioka, Saho Kanno, Tsuneyuki Higashino, Masatoshi Nishimoto, Masahiro Eriguchi, Kenichi Samejima, Kazuhiko Tsuruya, Tomoaki Imamura
30	大場延浩	学校法人日本大学	Effectiveness and safety of low- and normal-dose direct oral anticoagulant estimated by the nationwide claims data in Japan	学会	13th Asian Conference on Pharmacoepidemiology	2021	Kubota Kiyoshi
31	白岩健	国立保健医療科学院	Direct health care cost of treatment and medication of biliary atresia patients using the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups.	論文	Pediatr Surg Int. 2022 Apr;38(4):547-554	2022	Eri Hoshino, Keiko Konomura, Masayuki Obatake, Kensuke Moriwaki, Michi Sakai, Kevin Y Urayama, Kojiro Shimoizuma
32	今井健二郎	国立研究開発法人国立国際医療研究センター	Retrospective nationwide study on the trends in first-line antidiabetic medication for patients with type 2 diabetes in Japan.	論文	J Diabetes Investig. 2022; 13(2): 280-291.	2021	Ryotaro Bouchi, Takehiro Sugiyama, Atsushi Goto, Kenjiro Imai, Noriko Ihana-Sugiyama, Mitsuru Ohsugi, Toshimasa Yamauchi, Takashi Kadowaki, Kohjiro Ueki
33	今井健二郎	国立研究開発法人国立国際医療研究センター	本邦における2型糖尿病患者に対する糖尿病薬新規処方選択に関連する年代・患者個人・施設レベルの因子：NDBを用いた解析	研究	第64回日本糖尿病学会年次学術集会	2021	杉山雄大、坊内良太郎、後藤温、今井健二郎、井花庸子、大杉満、植木浩二郎、門脇孝、山内敏正
34	今井健二郎	国立研究開発法人国立国際医療研究センター	データベースを用いた糖尿病の医療政策研究・ヘルスサービスリサーチ	研究	第64回日本糖尿病学会年次学術集会	2021	杉山雄大
35	今井健二郎	国立研究開発法人国立国際医療研究センター	NDBを用いた解析から見てきた日本人2型糖尿病に対する糖尿病薬新規処方の実態	研究	第64回日本糖尿病学会年次学術集会	2021	坊内良太郎

No	提供依頼申出者	所属機関	演題名	発表形式	発表媒体	発表時期 (年)	発表者
36	今井健二郎	国立研究開発法人国立国際医療研究センター	A retrospective nationwide study on the trends in first-line antidiabetic medication for patients with type 2 diabetes in Japan	研究	American Diabetes Association, 81st Scientific Sessions	2021	Ryotaro Bouchi, Takehiro Sugiyama, Atsushi Goto, Kenjiro Imai, Noriko Ihana-Sugiyama, Mitsuru Ohsugi, Toshimasa Yamauchi, Takashi Kadowaki, Kohjiro Ueki
37	今井健二郎	国立研究開発法人国立国際医療研究センター	我が国の糖尿病・糖尿病合併症診療の変遷と今後の課題	研究	第36回日本糖尿病合併症学会	2021	杉山雄大
38	今井健二郎	国立研究開発法人国立国際医療研究センター	糖尿病及び合併症の実態把握に関する研究	報告書	厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業 糖尿病及び合併症の実態把握に関する研究、総括研究分担報告書、分担研究報告書	2021	山内 敏正、山田 祐一郎、菊池 透、大杉 満、村田 敏規、田中 哲洋、赤澤 宏、東 尚弘、後藤 温、野田 龍也、山口 聡子、笹子 敬洋、門脇 孝、田嶋尚子、脇 裕典、岡田 啓、相原 允一、西岡 祐一、小泉 千恵、坊内 良太郎、杉山 雄大、今井 健二郎
39	浜田将太	一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会	在宅医療を受ける胃腸患者の死亡前1年間の循環器疾患関連薬の処方実態	学会	第63回日本老年医学会学術集会	2021	服部ゆかり、浜田将太、山中崇、木棚 究、岩上 将夫、佐方 信夫、小島 太郎、小川 純人、秋下 雅弘
40	浜田将太	一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会	在宅医療を受ける高齢者におけるポリファーマシーの実態と関連因子：全国レセプトデータを用いた横断研究	学会	第3回日本在宅医療連合学会大会	2021	浜田将太、佐方 信夫、岩上 将夫、服部ゆかり、木棚 究、石崎 達郎、田宮 菜奈子、秋下 雅弘、山中 崇
41	後藤温	公立大学法人横浜市立大学	NDB (National Database) とは何かー糖尿病とがんとの関連を含めて	学会	第64回日本糖尿病学会年次学術集会	2021	後藤 温
42	今野弘規	国立大学法人大阪大学	福島県内外での疾病動向の把握に関する調査研究	報告書	環境省令和2年度放射線健康管理・健康不安対策事業（放射線の健康影響に係る研究調査事業）報告書	2021	今野弘規
43	恒石美登里	公益社団法人日本歯科医師会	Association between number of teeth and Alzheimer's disease using the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan	論文	PLOS ONE	2021	Midori TsuneishiI, Tatsuo Yamamoto, Takeyuki Yamaguchi, Tsuyoshi Kodama, Tamotsu Sato
44	恒石美登里	公益社団法人日本歯科医師会	Use of the dental formula from the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan.	レビュー	Japanese Dental Science Review	2022	Midori TsuneishiI, Tatsuo Yamamoto, Takeyuki Yamaguchi, Tsuyoshi Kodama, Tamotsu Sato
45	恒石美登里	公益社団法人日本歯科医師会	レセプト情報・特定健診等情報データベース (NDB) とは	解説	日本歯科医師会雑誌	2022	恒石美登里
46	恒石美登里	公益社団法人日本歯科医師会	NDBの活用でさらに明らかとなった口腔健康管理の重要性～歯数とアルツハイマー型認知症、誤嚥性肺炎および医科医療費との関連～	総説	日本歯科医師会雑誌	2022	恒石美登里
47	山下暁士	国立大学法人東海国立大学機構	大規模データに基づく75歳以上の大腿骨近位部骨折症例の発生状況の解析	研究会	令和3年度愛知県公衆衛生研究会	2021	山下 暁士、小林 大介、佐藤 菊枝
48	小泉龍士	国立研究開発法人国立国際医療研究センター	匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース (NDB) に基づいた都道府県別・年齢区分別 抗菌薬使用量サーベイランス	HP	国立国際医療研究センターAMR臨床リファレンスセンターのサイト内 (http://amrccr.ncgm.go.jp)	2021	小泉龍士、田中知佳、青柳健介、大野茜子、石金正裕、岩元典子、大曲貴夫
49	小泉龍士	国立研究開発法人国立国際医療研究センター	匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース (NDB) に基づいた都道府県別・年齢区分別 抗真菌薬使用量サーベイランス	HP	国立国際医療研究センターAMR臨床リファレンスセンターのサイト内 (http://amrccr.ncgm.go.jp)	2021	小泉龍士、田中知佳、青柳健介、大野茜子、石金正裕、岩元典子、大曲貴夫
50	小泉龍士	国立研究開発法人国立国際医療研究センター	日本全国、都道府県別の抗菌薬使用量を匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース (NDB) に基づき成分別 (ATC 5レベル・AWaRe分類別) に集計 (2013年～2020年)	HP	国立国際医療研究センターAMR臨床リファレンスセンターのサイト内 (http://amrccr.ncgm.go.jp)	2022	小泉龍士、青柳健介、松永展明、都築慎也、東俊明、大曲貴夫
51	小泉龍士	国立研究開発法人国立国際医療研究センター	日本全国、都道府県別の抗菌薬使用量を匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース (NDB) に基づき成分別 (ATC 5レベル・AWaRe分類別) に集計 (2013年～2019年)	HP	国立国際医療研究センターAMR臨床リファレンスセンターのサイト内 (http://amrccr.ncgm.go.jp)	2021	小泉龍士、青柳健介、松永展明、都築慎也、東俊明、大曲貴夫

No	提供依頼申出者	所属機関	演題名	発表形式	発表媒体	発表時期(年)	発表者
52	小泉龍士	国立研究開発法人国立国際医療研究センター	抗菌薬使用量 (AMU) サーベイランスに関する研究	報告書	厚生労働行政推進調査事業費補助金 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業研究事業 薬剤耐性AMRアクションプランの実行に関する研究 令和2年度 総括・分担 研究報告書	2021	研究代表者:大曲貴夫
53	小泉龍士	国立研究開発法人国立国際医療研究センター	Characteristics and limitations of national antimicrobial surveillance according to sales and claims data	論文	PLoS One. 2021 May 11;16(5):e0251299.	2021	日馬由貴、村木優一、田中知佳、小泉龍士、石金正裕、山崎大輔、田辺正樹、大曲貴夫
54	渡部愛	公益社団法人日本医師会	レセプト情報・特定健診等情報データベース (NDB) を用いた救急医療体制の現状分析	WP	日本医師会総合政策研究機構 公式サイト https://www.jmari.med.or.jp/result/working/post-194/	2021	渡部愛
55	成川衛	学校法人北里研究所	アルツハイマー病発症患者の特性探索及び発症リスクへの寄与因子に関する研究	論文	臨床精神薬理 2021; 24: 841-857.	2021	相野早紀、南部智子、大久寛晴、成川衛
56	佐藤旬	山形県	レセプト情報を用いた庄内地域における看取りの現状を示す数値の研究	その他	庄内地域保健医療協議会資料として、山形県ホームページで公開	2022	
57	藤原佐枝子	学校法人安田学園安田女子大学	生活習慣病・ステロイド使用患者における骨粗鬆症薬物治療の実態および骨折発生に関する研究	論文	Archives of Osteoporosis (2021) 16:106	2021	藤原佐枝子
58	藤原佐枝子	学校法人安田学園安田女子大学	骨粗鬆症・骨折の高リスク者の判別に関する研究	報告書	厚生労働科学研究費補助金 (循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業) 分担研究報告書	2022	藤原佐枝子 石井成幸
59	栗栖あけみ	国立大学法人広島大学	血液製剤の医療需要と供給の予測に関する研究 免疫グロブリン製剤の使用実態と需要予測	報告書	令和2年度厚生労働科学研究費補助金 (医薬品・医療機器等レギュトリーサイエンス政策研究事業) 新たなアプローチ方法による献血推進方策と血液製剤の需要予測に資する研究 総括・分担研究報告書	2021	田中純子、秋田智之、杉山文、栗栖あけみ
60	栗栖あけみ	国立大学法人広島大学	献血の需要と供給の将来推計	報告書	令和2年度厚生労働科学研究費補助金 (医薬品・医療機器等レギュトリーサイエンス政策研究事業) 新たなアプローチ方法による献血推進方策と血液製剤の需要予測に資する研究 総括・分担研究報告書	2021	田中純子、鹿野 千治、秋田智之、杉山文、栗栖あけみ
61	栗栖あけみ	国立大学法人広島大学	令和2年度厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュトリーサイエンス政策研究事業 新たなアプローチ方法による献血推進方策と血液製剤の需要予測に資する研究 献血の需要と供給の将来推計	厚生労働省 審議会	厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 血液事業部会 献血推進調査会	2021	田中純子
62	栗栖あけみ	国立大学法人広島大学	献血の需要と供給の将来推計と献血者確保の構想	学会	第69回日本輸血・細胞治療学会学術総会 シンポジウム (輸血行政 特別企画2) 「血漿分画製剤の安定供給のための原料血漿確保について考える」	2021	田中純子
63	栗栖あけみ	国立大学法人広島大学	令和3年度厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュトリーサイエンス政策研究事業 新たなアプローチ方法による献血推進方策と血液製剤の需要予測に資する研究	厚生労働省 合同班会議	厚生労働省 令和3年度第1回輸血関連研究班合同班会議	2021	田中純子
64	栗栖あけみ	国立大学法人広島大学	将来人口推計とレセプトデータから見る献血者確保の試み	学会	第45回日本血液事業学会総会 シンポジウム6「献血者確保策を探る」	2021	田中純子
65	伊木雅之	学校法人近畿大学	Insufficient increase in bone mineral density testing rates and pharmacotherapy after hip and vertebral fracture: analysis of the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan	論文	Archives of Osteoporosis, 16:130, 2021	2021	Shinichi Nakatoh, Kenji Fujimori, Shigeyuki Ishii, Junko Tamaki, Nobukazu Okimoto, Sumito Ogawa, Masayuki Iki
66	伊木雅之	学校法人近畿大学	Insufficient persistence to pharmacotherapy in Japanese patients with osteoporosis: an analysis of the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups in Japan	論文	Archives of Osteoporosis, 16:131, 2021	2021	Shinichi Nakatoh, Kenji Fujimori, Shigeyuki Ishii, Junko Tamaki, Nobukazu Okimoto, Sumito Ogawa, Masayuki Iki
67	伊木雅之	学校法人近畿大学	ナショナルデータベースを活用した骨粗鬆症性骨折前後における骨粗鬆症治療変化のリアルワールド実態解明	報告書	第52回医学研究助成研究報告集 (公益財団法人大樹生命厚生財団)	2021	玉置淳子、藤森研司、中藤真一、小川純人、沖本信和、神谷訓康、伊木雅之
68	伊木雅之	学校法人近畿大学	日本の大腿骨近位部骨折・椎体骨折前後の骨密度検査と骨粗鬆症薬物治療は不十分である-National Database of Health Insurance Claims of Japanの解析	学会	第23回 日本骨粗鬆症学会 学術集会 一般演題	2021	中藤真一、藤森研司、石井成幸、玉置淳子、沖本信和、小川純人、伊木雅之
69	伊木雅之	学校法人近畿大学	日本の骨粗鬆症薬物治療の継続率と服薬遵守率は不十分である-National Database of Health Insurance Claims of Japanの解析	学会	第23回 日本骨粗鬆症学会 学術集会 一般演題	2021	中藤真一、藤森研司、石井成幸、玉置淳子、沖本信和、小川純人、伊木雅之

No	提供依頼申出者	所属機関	演題名	発表形式	発表媒体	発表時期(年)	発表者
70	伊木雅之	学校法人近畿大学	脆弱性骨折の二次予防には投与薬剤の種類と服薬遵守が関係する-National Database of Health Insurance Claims of Japanの解析	学会	第23回 日本骨粗鬆症学会 学術集会 一般演題	2021	中藤真一、藤森研司、石井成幸、玉置淳子、沖本信和、小川純人、伊木雅之
71	伊木雅之	学校法人近畿大学	脆弱性骨折のデータベースから知る骨粗鬆症のベストプラクティス；骨粗鬆症研究におけるNational Databaseの活用と課題—NDBJ-OS Study Groupの検討から見えてきたこと（骨粗鬆症研究におけるNational Databaseの活用と課題—NDBJ-OS Study Groupの進捗・成果報告を中心として）	学会	第23回 日本骨粗鬆症学会 学術集会 シンポジウム	2021	玉置淳子
72	伊木雅之	学校法人近畿大学	レセプト情報・特定健診等情報データベースから見たステロイド性骨粗鬆症の管理と治療ガイドラインの遵守状況と骨粗鬆症治療開始の決定要因	学会	第23回 日本骨粗鬆症学会 学術集会 一般演題	2021	伊木雅之、藤森研司、石井成幸、玉置淳子、中藤真一、沖本信和、小川純人
73	伊木雅之	学校法人近畿大学	後期高齢者の診療実態から考える骨粗鬆症診療のベストプラクティス	学会	第23回 日本骨粗鬆症学会 学術集会 シンポジウム	2021	中藤 真一
74	金子富美	学校法人久留米大学	和歌山県内の薬剤師及び薬局の現状と今後10年先までの将来動向	報告書	和歌山県データ活用アーカイブ、和歌山県、 https://dtarc.pref.wakayama.jp/592/	2021	石井 一夫、森本 心平、新川 裕也、早川 正信、金子 富美、樋口 恭子
75	吉田秀平	国立大学法人広島大学	The 2018 Japan Floods Increased the Frequency of Yokukansan Prescriptions Among Elderly: A Retrospective Cohort Study	論文	Front. Nutr. 8:777330.	2022	石田亮子、吉田秀平、鹿嶋小緒里、岡崎悠治、松本正俊
76	吉田秀平	国立大学法人広島大学	The 2018 Japan Floods Increased Prescriptions of Antidementia Drugs Among Disaster Victims	論文	Journal of the American Medical Directors Association, 2022, in press	2022	石田亮子、吉田秀平、鹿嶋小緒里、岡崎悠治、松本正俊、石井伸弥、小池創一
77	永田知映	国立研究開発法人国立成育医療研究センター	NDBレセプトデータを用いた周産期疾患における傷病名の出現数及び点数の集計	研究班会議における報告	AMED「周産期・小児領域における高品質臨床研究推進のための臨床研究コンソーシアム」2021年度班会議	2022	竹原健二（永田知映、森崎菜穂、山本依志子、須藤茉衣子）
78	福島真一	学校法人順天堂	Delayed diagnosis of human immunodeficiency virus infection in people diagnosed with syphilis: A nationwide cohort study from 2011 to 2018 in Japan	学会	Journal of Infection and Chemotherapy 28 (2022)	2022	Toshio Naito, Kazutoshi Fujibayashi, Hirotake Mori, Shinichi Fukushima, Mayumi Yuda, Nobuyuki Fukui, Shotaro Tsukamoto, Mai Suzuki, Keiko Goto-Hirano, Ryohei Kuwatsuru
79	飯原なおみ	学校法人村崎学園	日本におけるスタチン新規使用者のスタチン使用状況	学会	日本薬学会第142年会	2022	富田淳子、吉田知司、小松亜衣、佐藤嗣道、千田彰一、飯原なおみ
80	向後麻里	学校法人昭和大学	Risk and Benefit Trade-off of Thromboprophylaxis in Patients with Fontan Circulation: Insights from the National Database of Health Insurance Claims of Japan	学会抄録	ESC Congress 2022 (Abstract submitted)	2022	細井政佳、大林真幸、宮原義典、藤井隆成、喜瀬広亮、向後麻里
81	頭金正博	公立大学法人名古屋市立大学	ナショナルレセプトデータベースを使用した直接経口抗凝固薬の有効性と安全性に関する研究	学内発表	令和3年度 名古屋市立大学薬学部薬学科 卒業研究発表会	2021	秋田彩佑
82	高瀬顕功	学校法人大正大学	精神医療の提供と地域支援の連携に関する研究：NDB を基にしたモニタリング指標	報告書	厚生労働行政推進調査事業費補助金（障害者政策総合研究事業）「持続可能で良質かつ適切な精神医療とモニタリング体制の確保に関する研究」(https://seishin-chikouken.jp/ndb.html)	2021	学校法人大正大学地域構想研究所
83	小島原典子	地方独立行政法人静岡県立病院機構静岡県立総合病院	NDBサンプリングデータを用いたパーキンソン病治療の解析	報告書	厚生労働科学研究費分担報告書 神経変性疾患領域の基盤的調査研究（ 20FC1049 ）	2022	小島原典子
84	山田博章	学校法人都築第一学園	リアルワールドデータを用いた高齢者における医薬品有害事象およびポリファーマシーの実態調査：医療データ解析	学会	第42回 日本臨床薬理学会学術総会	2021	田口真穂、岡田章、世良庄司、永井尚美、山田博章
85	山田博章	学校法人都築第一学園	JADERとNDBを用いた高齢者における医薬品有害事象発現状況及びポリファーマシーに関する実態調査	学会	日本薬学会第142年会	2022	田口真穂、岡田章、世良庄司、永井尚美、山田博章